

市 政 方 針



平成20年第1回根室市議会定例会が3月3日から開会し、本会議の冒頭で長谷川市長は、本年度の市政方針の基本姿勢と主要な施策について述べました。今号で、その概要についてお知らせいたします。

はじめに

私は、市長に就任してから、当市の抱える課題の克服とふるさと根室の発展を目指して、市政執行に全力を挙げて取り組んできました。

この間、医療・北方領土・経済対策・支庁再編と、まさに待ったなしの課題の連続でしたが、市議会議員並びに市民皆様のご協力を賜り対峙（たいじ）できましたことに敬意と感謝を申し上げます。

昨年は市制施行50周年の節目の年であり、その記念行事・記念事業としてさまざまな取り組みが行われました。

中でも、6月の「明治公園 さくらの森づくり植樹事業」や8月1日の「記念式典」などは、多くの市民との協働により実施されたものであり、市民協力の尊さが象徴的に現れたものであると感じています。

また、昨年、北海道から支庁制度改革案が提案され、縮小阻止に向け行動してきましたが、本年1月の「根室支庁存続総決起集会」も、「ふるさと根室をみんなで守ろう」とする熱意を大きく示したものでした。

今後も、経済・雇用・人口など地方自治体を取り巻く情勢にさらなる試練が予測されますが、このときこそ市民皆様と力を合わせ、萎縮することなく挑戦の気概を持って根室を元気にし、根室に住んでいて本当に良かったと実感できるまちづくりを進めることが、私に課せられた責務であり、また、根室には、それができる大きな可能性、希望として市民がいると信ずるところです。

平成20年度の市政執行にあたり、私の政治理念である「ふるさと再興の実現」を目指して誠心誠意取り組んでいきます。